

いつもお世話になっている皆様へ。



住まいる通信

H29.8



みなさんこんにちは！いよいよとうとう梅雨も終わり、本格的な夏の到来！毎日暑くて寝苦しい日が続いていますが、皆様におかれましては、お変わりございませんでしょうか？

上の写真は今春完成した新築の住宅です。前面に格子を配して、屋根は切妻の大屋根とし、京都の町屋風のイメージでデザインしました。最近の住宅は、外壁を既製品のサイディングに屋根はカラーベストの住宅が多く、住まいの個性を感じさせない建物となっています。勿論建築コストとの兼ね合いもあるとは思いますが、日々暮らす建物としては少々味気なく感じますので、この住宅を計画するに当たっては、出来るだけ個性を感じさせる建物にしたいと思った次第です。お施主様からの要望は「これだけの間取りが欲しい！」と言ったざっくりとしたものでしたので、デザインは担当の西村君と私の思うままにさせていただきました。いかがでしょうか？また感想などお聞かせください。（詳しくは裏面にてご紹介しておりますのでご一読下さい）。

さて、情けない話ですが、「どうも最近朝がだるくて、なんだかなあ〜」なんて思っていました。そして、何やら左脇腹あたりに違和感を感じはじめ、何やらピリピリと痛いなあと思いつつお風呂に入ってみるとブツブツができていたではありませんか。そうです「帯状疱疹」に罹ってしまいました。熱っぽい体もだるいので、家内と相談して皮膚科でなく総合病院へ行ったものの、通り一辺倒の薬を貰っただけ。その後、持病（アトピー性皮膚炎）のかかりつけの皮膚科に行き帯状疱疹の話をすると「河野さん、帯状疱疹はね皮膚科！、薬はそれしかもらってないの？え〜？」とのきついお言葉と追加の薬を貰いました。

私たちの業界でも、「建築士は何でも知っている」ように思われているかもしれませんが、殆どの建築士は構造などの専門性の高い分野は上辺しか分かっていません。じゃあ、どこに相談したらいいの？となりますので、弊社のホームページも耐震の構造や断熱の施工方法など、専門性の高い分野について、しっかりとアピールしなくてはと反省です。（啓）

今回も”美味しい”と大人気！
宮園そば打ち同好会さんの手打ちそば
6/17廿日市店にて



手製の台や道具を使って
そばを打っています

近年、廿日市店でのイベントでは毎回”宮園そば打ち同好会”さんにご協力いただいて、本格手打ちそばを1杯100円で楽しんでいただいております。宮園地域の皆さんは”宮園そば打ち同好会”さんの手打ちそばが美味しいことを良くご存じで、左の写真のように始まる前からたくさんの方が列をなして来られます。

この同好会は、元々宮園公民館で行っている「お父さんの料理教室」に参加していた方々がそば打ちを習ったことが始まりとか。以後、そば打ちに魅せられ同好会へと発展されたようです。

弊社のイベントにご協力いただいたのは、早いもので15年ほど前からとなります。その後、宮園に廿日市店を構えたことからご縁も深まり、今では廿日市店での恒例行事となっております。今年の5月に本社でもご協力いただきましたが、大竹の皆さんには知られてなかったためか、廿日市店程の賑わいにはなりませんでしたが、来られた方は皆さん口をそろえて「美味しい！蕎麦屋で食べるそばよりずっと美味しい！」と感激されていました。

地域の方に喜ばれる企業に！が今年のスローガンですので、これからも「宮園そば打ち同好会」の皆様にご協力いただきながら、イベントを続けて行けたらと思います。同好会の皆様、本当に有難うございます。（啓）



そばのチケット売り場も長



テーブルは満席！

近況報告

今年度も早いもので4カ月が過ぎ、皆お陰様で元気に忙しく飛び回っております。では近況を

- ①本社で工務の責任者竹内常務は廿日市店で施工管理と、新しい施工体制の開発を行います
 - ②廿日市店で施工管理を担当していた太田君は、営業・修理サービスを担当し宮本店長に鍛えられています。
 - ③廿日市店で営業を行っていた河野（大）君は、本社で施工管理全般を担当
 - ④新入社員の中谷君は河野君の下で、施工管理のアシスタントに汗を流しております。
- 上記のように、若干の移動はありましたが、今年度も皆元気に頑張っております！！

「住いの困った」は ゲインンハウス 大竹店・廿日市店共に

フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>

最後までお読みいただき有難うございました、次回は11月の予定です。（啓）

*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



河野



報告！「助け隊」ほぼ完了！



頑張って掃除する
中谷君



油が固まった
排水樹

排水樹を掃除する「助け隊」の報告です。
この「助け隊」は、弊社の「住まいのクラブ会員」（一定規模以上の工事等をさせていただいたお客様対象）に案内をさせていただき、60件ものお申し込みをいただいております。この「助け隊」を行うきっかけとなったのが、我が家の排水樹の詰り。排水樹の中に木の根が生え、それが原因で詰りを起こしてしまいました。塩ビ管で配管している排水管で詰まる事は勾配に問題がある以外ほとんど起こりませんが、排水樹では木の根っこや、左の写真のように台所からの油が固まって流れなくなってしまう事が起こりますので、年に一度くらいは排水樹の蓋を開けてチェックすることで、詰りを未然に防ぎたいものです。

写真のように、新入社員の中谷君がメインで頑張って回りますので、お伺いした際はよろしくお願ひします。（啓）

今回のテーマは 「木材はなぜ、変色するのか」

木の家を科学する⑥



変色した板材を
削ったもの



風雨にさらされて
シルバーグレーに変色したウッドデッキ

木材の変色は、材中の化学成分（変色原因物質）が化学変化を起こして、別の色を持った成分に変わるために生じる現象です。

●光による変色のメカニズム

木材に太陽の紫外線が当たると日焼けを生じます。これは木材中の成分、特にリグニンやポリフェノール類をもつ抽出成分が紫外線をよく吸収し、変色や光化学反応を引き起こすためと考えられます。このように光による影響は大きいのですが、その影響が及ぶ範囲は木の表面（0.2mm程度）に限られます。左の写真のように表面を削ってしまえば、また元の色が現れて来ます。それが無垢の木材の強みでもあります。

●風化

屋外で木材を使用するとどんな樹種でもすべてシルバーグレーに変色します。光によって分解されたリグニンなどの変色物質は、水に溶けやすく、雨などにさらされると流れ出てしまうため、脱色したようなシルバーグレーになってしまいます。このリグニンは木材を構成しているセルロースを補強する役割を担っているため、リグニンが無くなってしまうと木材の繊維が表面から剥がれてしまい、内部にまで光による劣化を促進させ、風化していくこととなります。

新しいヒノキ柱の淡いピンク色も美しいですが、年数が経った古民家の柱や梁が黒鉛色に輝いている様は、何とも言えない味わいと風格を感じさせてくれますね！これこそ木の真骨頂ではないでしょうか。（啓）

町屋風の”格子のある家” 新築住宅の施工事例

今回の施工事例は、冒頭の写真でご紹介した新築住宅です。弊社のお客様のご姉妹が建てられると言う事でご紹介いただきました。前面道路が北側に接していて、両サイドに住宅が隣接しているため、道路面からしか外観を見ることができない住宅となるため、京都の町屋をイメージした住宅を計画しました。また、地盤の耐力が弱かったので、環境パイルにて地盤改良を行っています。（啓）

建物概要

- ・構造 : 木造軸組み工法
- ・床面積 :
1階67.98m²(20.6坪) 2階33.12m²
(10.0坪)
計 101.10m²(30.6坪)
- ・基礎
地盤改良 環境パイル工法
基礎 ベタ基礎
- ・外壁
モルタル刷毛引き塗装仕上げ
- ・屋根
平板瓦



外観
前面の格子で町屋のイメージに
2階からの大屋根にしたことで
建物が大きく見えます



LDK
明るく広々としたリビング
床は素足に暖かい
栗の無垢フローリング



キッチン
天井を吹き抜けにし
交差した大きな梁が
ウッディな感じに



LDK横の和室
リビングとの障子を透明の
ガラス障子にしたことで解放的に



玄関ホール
丸窓のある壁面のクロスを変
えたことで和風のイメージに

先月引越を終えられ、改めてご挨拶にわざわざ事務所までお越しいただきました。近隣の新興住宅と完全に一線を画した外観や、キッチンの大きな梁などとても気に入っていただけたようで、とても喜んでおられました。設計施工を担わせていただいた一人として、その顔を拝見してとてもうれしくなりました。さて、これから我が社とのお付き合いの始まりです。末永くよろしくお願ひします。（啓）

